

令和6年度伊勢崎市教育委員会事業
点検・評価報告書

令和7年5月

伊勢崎市教育委員会

令和6年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項の規定により、教育委員会自らが令和6年度の所管事業の管理及び執行の状況について、学識経験者からご意見をいただきながら、第2期伊勢崎市教育振興基本計画に基づいた教育行政方針の8施策について点検及び評価を行い、その結果を次のとおり報告します。

令和7年5月

伊勢崎市教育委員会

《参 考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I はじめに	
1 点検・評価の概要	1
2 点検・評価、教育行政方針と教育振興基本計画との関わり	1
3 教育委員会組織図	3
4 点検・評価報告書の対象と見方	4
5 教育委員会の活動状況	5
II 令和6年度教育行政方針の概要	12
III 教育行政方針と第2期伊勢崎市教育振興基本計画との関連図	13
IV 学識経験者の意見	14
V 点検・評価報告書	
1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実	18
2 子供の成長に応じた学校教育の充実	20
3 子供の徳育の充実	23
4 安心・安全を大切にした健康教育の充実	26
5 教育環境の整備・充実	28
6 市民が主役の生涯学習の充実	30
7 読書の街づくりの推進	32
8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成	34
VI 重点施策指標一覧	36
VII おわりに	

1 はじめに

1 点検・評価の概要

(1) 実施の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地方教育行政法」という。）第26条において、教育委員会のその権限に属する事務について毎年自ら点検及び評価を行い、報告書を議会に提出するとともに公表することが義務づけられています。

(2) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政法第26条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしています。

団 体 ・ 役 職	氏 名
共愛学園前橋国際大学 客員教授	青 木 博 氏

2 点検・評価、教育行政方針と教育振興基本計画との関わり

点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成する段階において、学識経験者のヒアリングを実施しており、所管での個別取組事項の改善点や充実事項等を、迅速に次年度の教育行政方針へ反映できる取組に努めてきました。

なお、報告書については、「P（Plan）D（Do）C（check）A（action）」サイクルを取り入れ、教育行政に対する事務事業が明確に示せる取組を推進しています。

報告書における重点施策の指標については、第2期伊勢崎市教育振興基本計画（令和2年3月策定）の「計画の達成目標」と同項目とし、報告書及び教育振興基本計画との関係が分かるよう示しました。報告書では、当該年度末の実績値を成果指標としています。（「VI 重点施策指標一覧」36～37ページ参照）

あわせて、教育行政方針の「個別施策」と第2期伊勢崎市教育振興基本計画の「取組事項」については、基本的には同項目としていますが、教育を取り巻く社会情勢を把握したうえで、教育施策（教育行政方針「個別施策」）については、適宜見直しを図ってきました。（「III 教育行政方針と第2期伊勢崎市教育振興基本計画との相関図」13ページ参照）

教育行政方針及び第2期伊勢崎市教育振興基本計画の全文については、伊勢崎市のホームページへの掲載及び市役所本庁舎並びに各支所の市民情報コーナーに冊子を配置しています。

『伊勢崎市ホームページ検索』

【 教育振興基本計画 】

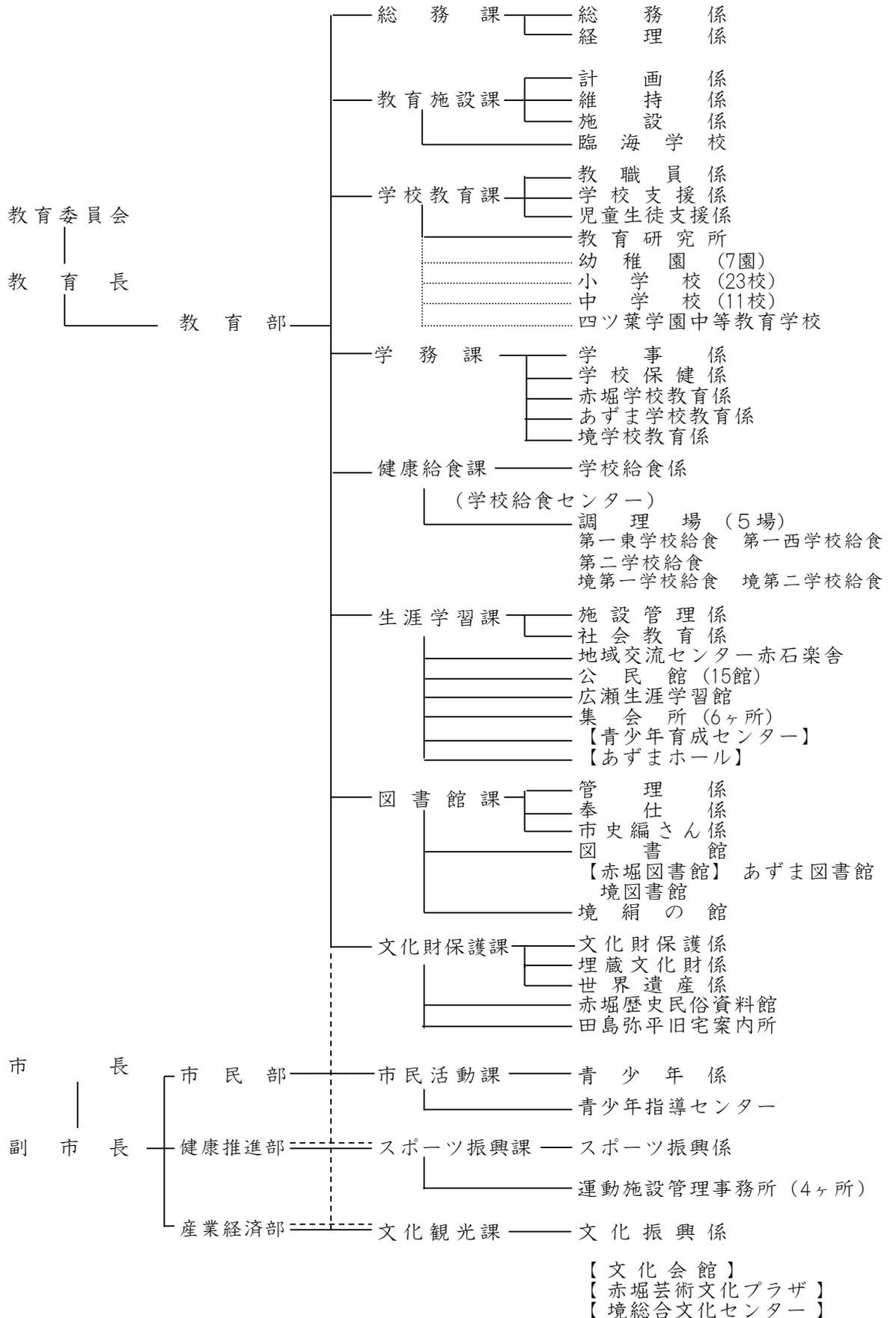
子育て・教育 > 教育行政 > 教育委員会 > 第2期伊勢崎市教育振興基本計画

【 教育行政方針 】

子育て・教育 > 教育行政 > 教育委員会 > 伊勢崎市教育行政方針

こうした教育施策を具体的に実施する教育委員会事務局は、総務課、教育施設課、学校教育課、学務課、健康給食課、生涯学習課、図書館課、文化財保護課の8課で構成されており、幼稚園、小中学校及び四ツ葉学園中等教育学校、学校給食調理場、公民館、図書館などの教育機関は81施設あります。また、教育委員会の権限に属する事務分掌のうち、スポーツに関すること及び文化に関することについては、一部を除き市長部局に事務委任しています。

3 教育委員会組織図 (令和6年4月1日現在)



※【 】：指定管理施設

4 点検・評価報告書の対象と見方

本報告書では、「教育行政方針」に掲げられた施策体系図に基づき、所管課が事業方針に示した施策名ごと（①～⑳）に自ら点検・評価しています。学識経験者の意見については、「IV 学識経験者の意見（14～17 ページ）」に記載しています。

計画・取組	今年度の計画・取組を明記
-------	--------------

今年度の成果	今年度の計画・取組に対する成果を明記
--------	--------------------

施策についての5段階評価

【有効性】事業の有効性について、5段階評価します。

評価	評価基準
5 極めて高い	目標を達成でき、十分な成果を出している
4 高い	目標を概ね達成でき、順調に成果を出している
3 普通	目標の達成に向け、一定の成果を出している
2 低い	目標の達成に向け、事業方法の改善等を要する
1 かなり低い	目標の達成に向け、事業自体の見直し等を要する

【必要性】事業の必要性について、担当課の事業に対する考え方や市民ニーズなど、時勢からみてどのように考えるかについて、5段階評価します。

評価	評価基準
5 極めて高い	事業実績に基づき、必要性が極めて高い施策である
4 高い	事業実績に基づき、必要性が高い施策である
3 普通	事業実績に基づき、必要性を認める施策である
2 低い	事業内容や方法等の一部見直しの検討を要する施策である
1 かなり低い	事業の見直し等の検討を要する施策である

【方向性】事業の今後の方向性について、5段階評価します。

評価	評価基準
5 充実	事業を充実させていく施策である
4 継続	事業を継続していく施策である
3 再編	事業の統合や組替が必要な施策である
2 縮小	事業の縮小が必要な施策である
1 廃止・休止等	事業の廃止・休止等が必要な施策である

今後の方向性	次年度以降の方向性や改善への取組を明記
--------	---------------------

5 教育委員会の活動状況

令和6年度の教育委員会の会議などの活動状況は、次のとおりです。

(1) 会議の開催状況（令和7年3月末現在）

ア 開催回数

教育委員による会議は、定例会と臨時会があり、令和6年度は次のとおり開催されました。

また、会議終了後、委員協議会を適宜開催し、教育委員会の現状や課題等を報告、協議しました。あわせて、教育現場の認識を深めてもらうため、群馬県立みらい共創中学校の視察を行いました。

会議区分	回数	備考
定例会	12回	
臨時会	3回	
委員協議会	8回	協議件数 15件

イ 審議内容

会議で審議された案件は74件で、主な内容は次のとおりでした。

上 程 案 件	件数
条例の制定・改廃に関する事	5件
規則・訓令の制定・改廃に関する事	16件
教育行政方針等に関する事	7件
予算、契約、用地取得に関する事	7件
各種委員の委嘱に関する事	15件
その他	24件

ウ 実施事業等の報告

会議では、審議のほかに実施事業などの報告も行われています。

教育長報告では、新たに作成した教育関係資料となる教育方針や教育構想等の周知、各種事業の取組、各課主催の行事・イベント開催等に関する情報及び開催結果、市議会定例会における教育に関する一般質問の答弁概要、児童生徒の活躍状況の周知など、51件の報告が行われました。

《参考》 令和6年度教育委員会会議審議案件等一覧

開催年月日	会議区分	案件区分	番号	件名	
令和6年4月18日	定例会	教育長報告	1	「こどもの読書週間」に合わせた各種事業について	
		議案	第16号	令和5年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第13号）の計上に係る臨時代理の承認について	
			第17号	伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について	
		委員協議会	1	令和5年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書（案）について	
			2	教育委員会会議及び委員協議会について	
令和6年5月16日	定例会	議案	第18号	令和5年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書（案）について	
			第19号	伊勢崎市奨学生選考委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について	
			第20号	伊勢崎市臨海学校条例施行規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について	
			第21号	伊勢崎市学校運営協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について	
			第22号	第二学校給食調理場食器洗浄機取得に係る臨時代理の承認について	
			第23号	学校給食用食器取得に係る臨時代理の承認について	
			第24号	豊受公民館新築工事請負契約の締結について	
			第25号	伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	
			第26号	伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	
			第27号	伊勢崎市史編さん委員会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	
令和6年6月20日	定例会	教育長報告	1	令和6年第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問等の答弁概要について	
			2	中学生グローバルイングリッシュキャンプ結団式について	
			3	少年の主張伊勢崎市大会の開催について	
			4	田島弥平旧宅世界遺産登録10周年記念シンポジウムの開催について	
			5	令和6年度赤堀歴史民俗資料館企画展「歴史いきもの図鑑」の開催について	
			議案	第28号	伊勢崎市学校給食運営委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について
				第29号	伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について
				第30号	伊勢崎市あずまホールの指定管理者の候補者の選定に伴う諮問に係る臨時代理の承認について
				第31号	伊勢崎市赤堀図書館の指定管理者の候補者の選定に伴う諮問に係る臨時代理の承認について
				第32号	令和6・7年度伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱に係る臨時代理の承認について
		第33号		令和6・7年度伊勢崎市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	
		第34号		令和7年度伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜実施要項の一部変更について	
		第35号		令和7年度伊勢崎市立幼稚園の定員について	
		委員協議会	第36号	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	
			1	令和6年第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁について	
				2	夏休みこども向け講座について

開催年月日	会議区分	案件区分	番号	件名	
令和6年7月18日	定例会	教育長報告	1	P r o o m の設置状況について	
			2	伊勢崎佐波地区いじめ防止フォーラムについて	
			3	少年の主張伊勢崎市大会の結果について	
			4	夏休み子ども向け事業について	
			5	赤堀歴史民俗資料館夏休み小学生向け事業について	
		議案	第37号	令和7年度使用教科用図書の採択について	
			第38号	伊勢崎市あずまホールの指定管理者の候補者の決定について	
令和6年8月20日	定例会	教育長報告	1	臨海学校について	
			2	中学生グローバルイングリッシュキャンプ in 東京について	
			3	少年の主張中部地区大会及び群馬県大会の結果について	
			4	中学校及び四ツ葉学園中等教育学校体育館への空調設備設置の完了について	
			議案	第41号	令和6年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第3号）の見積りについて
				第42号	名和小学校南校舎長寿命化改修工事（債務負担行為）請負契約の締結について
		委員協議会	第43号	伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について	
第44号	伊勢崎市教育委員会の所管に係る情報公開条例施行規則の一部を改正する規則案について				
令和6年9月24日	定例会	教育長報告	1	令和6年第4回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について	
			2	入学者選抜説明会の開催について	
			3	謎解きウォークラリー「くわまると行く！虹色の繭の秘密」の開催について	
			4	田島弥平旧宅世界遺産登録10周年記念フェスタの開催について	
		議案	第45号	教師用指導書の取得の追認について	
			第46号	小学校教科書採択替えに伴う教師用指導書の取得の追認について	
			第47号	小学校教科書採択替えに伴う教師用指導書の取得の追認について	
		委員協議会	1	令和6年第4回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁について	
			2	史跡上野国佐位郡正倉跡の追加指定について	
		令和6年10月11日	臨時会	議案	第48号
令和6年10月17日	定例会	教育長報告	1	英語弁論大会について	
			2	令和6年度伊勢崎市人権学習会の開催について	
			3	読書週間関連イベントについて	
			4	令和6年度赤堀歴史民俗資料館企画展「ヒミツの縄文土器☆大集合—伊勢崎の縄文時代のすべて—」の開催について	

開催年月日	会議区分	案件区分	番号	件名
		議案	8	市史編さんシンポジウムの開催について
		委員協議会	第1号	令和7年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出当初予算の見積りについて
			第2号	第3期伊勢崎市教育振興基本計画（案）について
			第3号	令和7年度伊勢崎市立幼稚園の休園について
			第4号	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校管理規則の一部を改正する規則案について
			1	令和7年度伊勢崎市教育行政方針について
			2	令和6年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書について
			3	教育部所管施設個別施設計画の改訂について
令和7年2月13日	定例会	教育長報告	1	令和6年度「いせさき元気大賞」の受賞者について
		議案	2	令和6年度移動音楽教室について
			3	令和7年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について
			4	NHK総合の放映について
			5	「令和6年度いせさき学習堂 図書館×スゴイ人」の開催について
			6	令和6年度赤堀歴史民俗資料館収蔵資料展「ガラスの箱のおひなさま」の開催について
			第5号	令和6年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算（第8号）の見積り等について
			第6号	令和6年度伊勢崎市学校給食センター事業費に係る特別会計歳入歳出補正予算（第2号）の見積りについて
			第7号	令和7年度伊勢崎市教育行政方針案について
			第8号	伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計条例を廃止する条例案について
			第9号	豊受公民館新築工事請負変更契約の締結に係る臨時代理の承認について
			第10号	伊勢崎市公民館条例の一部を改正する条例案について
			第11号	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館条例施行規則の一部を改正する規則案について
			第12号	伊勢崎市赤堀保健福祉センターの土地及び建物の取得について
		第13号	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案について	
令和7年3月5日	臨時会	議案	第14号	県教育委員会が任命権を有する教職員の任免の内申について
令和7年3月13日	定例会	教育長報告	1	令和7年第1回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について
		議案	2	令和6年度教育研究所、研究報告会及び修了証授与式について
			第15号	伊勢崎市教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則案について
			第16号	伊勢崎市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案について
			第17号	伊勢崎市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則の一部を改正する規則案について
			第18号	伊勢崎市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償の支給等に関する規則の一部を改正する規則案について
			第19号	伊勢崎市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則案について
			第20号	伊勢崎市教育委員会の所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の制定について
			第21号	市教育委員会が任命権を有する教職員の任免について

開催年月日	会議区分	案件区分	番号	件名
		委員協議会	第22号	伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について
			第23号	伊勢崎市文化財調査委員の委嘱について
			第24号	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について
			第25号	中学校教科書採択替えに伴う教師用指導書の取得について
			第26号	伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について
			第27号	伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について
			第28号	伊勢崎市人権教育推進委員会規則の一部を改正する規則案について
			1	令和7年第1回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する一般質問の答弁について
			2	教育委員会委員の任命について
令和7年3月24日	臨時会	協議事項	1	教育長職務代理者の指名について
		議案	第29号	教育部所管施設の各個別施設計画（案）について
			第30号	伊勢崎市教育財産管理規則の一部を改正する規則案について
			第31号	伊勢崎市教育委員会事務局組織規則及び伊勢崎市教育委員会職員の職の設置及び職務に関する規則の一部を改正する規則案について

(2) 総合教育会議

総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会との連携を強化し、教育課題の解決をはじめ教育行政を積極的に推進するため、地方公共団体の長が招集し、学校教育分野、生涯学習分野、歴史・文化分野における課題等について、協議を行います。

開催年月日	案件区分	番号	件名
令和6年5月27日	協議事項	1	子どもの権利を尊重する取組について
		2	まちなかのシンボルともなる公立図書館の役割や在り方
		3	「伊勢崎市教育振興施策の大綱」の取り扱いについて
令和7年2月13日	協議事項	1	「伊勢崎市教育振興施策の大綱」の取り扱いについて

(3) その他の活動（教育長を除く）

教育委員は、教育委員会会議のほか、各種附属機関の会議、学校行事、群馬県市町村教育委員会連絡協議会の会議、文部科学省主催の市町村教育委員会研究協議会研修などに出席しています。

令和6年度については、これらの会議等へ出席しました。

	内 容
研修・視察	群馬県市町村教育委員会連絡協議会新任研修会、全体研修会 (11月)
	文部科学省主催 市町村教育委員会研究協議会 (2月)
会 議	定例校長会議 (4月、1月 全委員)
附属機関委員会	奨学生選考委員会 (5/20 全委員)
	いじめ問題対策連絡協議会 (8/19 委員)
	生涯学習推進協議会 (6/25 教育長職務代理者)
	学校給食運営委員会 (7/18 2/5 教育長職務代理者・委員)
	市史編さん委員会 (6/25 11/8 3/17 委員)
行 事 等	少年の主張伊勢崎市大会 (6/27)
	生涯学習大会 (2/1)
学校行事	四ツ葉学園中等教育学校入学式 (4/8)
	四ツ葉学園中等教育学校卒業式 (3/3)

II 令和6年度教育行政方針の概要

基本理念

人口減少・少子高齢社会の進行により人口構成が大きく変化するとともに、グローバル化による人の移動が拡大していく中、経済、環境、社会の統合的な発展に向け、持続可能な社会を創出していくことが求められています。複雑多様化する現代社会の様々な課題に対して、全ての市民が問題意識を持ち、積極的に関わり地域主体でその改善に向け実践することが理想であります。そのための人材育成が今、最も大切になってきています。

伊勢崎市教育委員会は、**夢あるところに笑顔の輪 のびのび伸ばそう個性の翼**を基本理念に掲げ、子どもから大人までみんなが笑顔で、夢や希望、生きがいの実現に向けて邁進することができるよう努めます。

基本方針

本市教育委員会は、現代社会の様々な課題に積極的に関わり、持続可能な社会づくりの担い手となる人材として

夢と志をもち 自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子供

生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせる人

郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人

を掲げ、基本理念の具現化に努めます。

これらの人材を育成するため幅広い視点から、グローバル教育、環境教育、キャリア教育など関連する様々な分野に総合的に取り組むとともに、生まれた境遇や育った環境に左右されることなく、**一人一人が可能性を伸ばせるよう誰一人取り残さない教育**を推進します。

また、家庭・学校・地域の連携や世代間交流を進めることで、個別にもつ知識や能力等を伝え合う**"対話的な学び"**を展開するなどして、**市民が夢や生きがいを持って学び、その成果を地域や社会に還元できる仕組みづくり**を推進します。

III 教育行政方針と第2期伊勢崎市教育振興基本計画との関連図

《 令和6年度教育行政方針 》

《 第2期伊勢崎市教育振興基本計画 》

1. 学びの芽生えを大切にす就学前教育の充実

- ① 交流と体験を重視した就学前教育の展開
【学校教育課】
- ② 幼稚園・小学校の連携 【学校教育課】
- ③ 就学前教育の充実【総務課 学校教育課】

基本施策1 学びの芽生えを大切にす就学前教育の充実

- ① 交流と体験を重視した就学前教育の展開
【学校教育課】
- ② 幼稚園小学校の連携 【学校教育課】
- ③ 就学前教育の充実 【総務課 学校教育課】

2. 子供の成長に応じた学校教育の充実

- ④ 教育内容の充実 【学校教育課】
- ⑤ 特色ある学校づくりの推進 【学校教育課】
- ⑥ 中等教育学校教育の充実
【四ツ葉学園中等教育学校】

基本施策2 子供の成長に応じた学校教育の充実

- ① 特色ある学校づくりの推進 / 教育内容の充実
【学校教育課】
- ② 中等教育学校教育の充実
【四ツ葉学園中等教育学校】

3. 子供の徳育の充実

- ⑦ ふれあいを大切にす豊かな心の育成
【学校教育課】
- ⑧ 家庭や地域との連携による心の育成
【学務課 生涯学習課】
- ⑨ 地域ぐるみの子供の健全育成【生涯学習課】

基本施策3 子供の徳育の充実

- ① 「ほめる・認める・励ます」支援による豊かな心の育成
【学校教育課】
- ② 家庭や地域との連携による心の育成
【生涯学習課】

4. 安心・安全を大切にす健康教育の充実

- ⑩ 学校保健の充実 【学務課】
- ⑪ 学校給食の充実 【健康給食課】
- ⑫ 学校安全の充実 【学務課】

基本施策4 安心・安全を大切にす健康教育の充実

- ① 健康教育の充実 【学校教育課】
- ② 学校給食の充実 【健康給食課】
- ③ 安全対策の充実 【学校教育課】

5. 教育環境の整備・充実

- ⑬ 教育施設の整備充実 【教育施設課】
- ⑭ 教職員の資質の向上 【学校教育課】

基本施策5 教育環境の整備・充実

- ① 教職員の資質の向上 【学校教育課】
- ② 学校施設の充実 【教育施設課】

6. 市民が主役の生涯学習の充実

- ⑮ 学習活動の支援 【生涯学習課】
- ⑯ 市民の学ぶ環境の充実 【生涯学習課】

基本施策6 市民が主役の生涯学習の充実

- ① 生涯学習支援の拡充 【生涯学習課】
- ② 学習機会の充実、サークル・団体等の自主的活動の推進
【生涯学習課】
- ③ 学社連携事業の充実【生涯学習課】

7. 読書の街づくりの推進

- ⑰ 豊かな心を育む読書活動の推進 【図書館課】
- ⑱ 図書館の特色を活かした事業の展開 【図書館課】
- ⑲ ボランティア（図書館応援団）との協働の推進
【図書館課】

基本施策7 読書の街づくりの推進

- ① 読書活動の推進 【図書館課】
- ② 疑問や課題解決に向けた支援の充実【図書館課】
- ③ 地域の文化を育む活動の展開【図書館課】

8. 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- ⑳ 文化財の調査研究と情報発信 【文化財保護課】
- ㉑ 文化財の保存活用 【文化財保護課】
- ㉒ 伝統芸能などの保存と継承 【文化財保護課】
- ㉓ 新たな市史の編さん【図書館課】

基本施策9 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- ① 文化財の調査研究と情報発信 【文化財保護課】
- ② 文化財の保存活用 【文化財保護課】
- ③ 伝統芸能などの保存と継承 【文化財保護課】

IV 学識経験者の意見（青木教授）

重点施策 1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実 【総務課・学校教育課】

伊勢崎市教育委員会の施策の特徴として一つ一つの教育活動が家庭や地域との連携を重視している点を挙げるができます。幼児教育においては「ふたばすくすくプラン」の下で地域にある老人会や地域ボランティアなどの教育資源をうまく活用し成果を上げてきています。幼稚園・小学校の連携では、様々な研修を通し幼児教育に対する小学校の理解が進み、その結果、小学校一年生での生活の在り方や学習活動などに様々な配慮がなされている様子が分かります。相互の情報交換も活発に行われ令和6年度は延べ 233 人の先生方が参加されていますが、このことで幼小相互の理解や信頼の形成に大きく貢献しているものと思います。

今後の方向性として、市長部局との連携を進める点に触れています。5歳児健診の実施などで幼児個々の実態に応じ、早めの支援を可能にするうえで素晴らしいと思います。

幼稚園の適正配置では、特に閉園となった施設の状況により有効に利活用したり、老朽化などで解体したりする方向で検討がなされています。地域の理解や施設の安全性など様々な観点からの考えやアイデアを踏まえ、今後も適正配置について検討・推進をお願いしたいと思います。

重点施策 2 子供の成長に応じた学校教育の充実

【学校教育課・四ツ葉学園中等教育学校】

本市では特色ある学校づくりの推進にあるように、小学校、中学校ともに「地域とともにある学校づくり」で大きな成果が見られます。カリキュラムパートナーやいせさき教育アンバサダーの特別授業が年間で 36 回行われました。専門性の高い方々の話からの学びは、日々の学習に一層興味をもたせ、学びの質を高めたり深めたりすることにつながると考えます。また、コミュニティ・スクールに関連しては、各地区の学校運営協議会の取組がまさに学校の応援団としてのものであり、地域が一体となって子どもたちを育てている熱意を感じます。今後この成果をさらに広める予定と聞きますが期待するところです。

子どもの学力に関しては授業改善の視点として「めあて」や「振り返り」の充実などを掲げて取り組みました。その結果「学校の授業の内容が分かる」と感じる子どもが 92.7%となるなど好ましい成果が出ています。今後は自律的に学びに向かい合う児童生徒の育成を方向性に掲げているので、その取り組みに期待したいと思います。

中等教育学校教育の充実の一つとして、四ツ葉学園中等教育学校では探求活動において SDGs をテーマにして取り組んできました。授業での各教科の学習内容やそこでの課題解決の手法が生かされる中で指導を進めた結果として、生徒の日々の JRC 活動の充実や個々の進路選択にも反映されるケースが見られるとの報告を受けました。よい成果が出ていると思います。

重点施策3 子供の徳育の充実 【学校教育課・学務課・生涯学習課】

いじめや不登校の原因は個により異なるため根気よく、そして様々な角度から児童生徒へアプローチすることが求められます。市では予防的な対応として温かな学級や居場所づくり、人間関係づくりなどに取り組まれてきました。また、併せて子どもが心を開き、どの子どもでも安心して過ごせる P-room を設置したり、教育支援センターのほっとる一むで指導を重ねたりするなどこの問題に多様な対応が図られています。このような取組で昨年に引き続き「学級で人にやさしくしたり、人からやさしくされたりしたことがある」と回答した児童生徒が 94.5%であり、ほぼ掲げた目標値となっており素晴らしいと思います。

子どもの徳性の向上に対する学校の取組と保護者を含めた地域の理解は極めて密接な関係にあります。人権意識の高揚のための啓発活動として今年度は学校関係者、保護者などを対象として「外国人の人権」をテーマとした人権学習会を開催されました。外国人とのよりよい共生は本市の大きな課題の一つであり、よい視点からの人権学習会であったと思います。また、市では今後の人権啓発活動に当たってはより多くの方が参加しやすいように QR コードでの申し込みや SNS での情報発信を計画されるなど新たな取組を考えており評価できます。

放課後子供教室も地域と連携しながら進められていますが、実施校数が昨年度までの 11 校から 12 校に増えるとともに、地域でどのような子どもを育てるかを皆で考え始めるなど素晴らしい成果が出ています。

重点施策4 安心・安全を大切にした健康教育の充実 【学務課・健康給食課】

健康に影響を及ぼす酷暑から来る熱中症対策をはじめ、5 類移行後の新型コロナ対策など児童生徒の健康管理に様々な配慮が見られます。今年度の健康診断では医師会との相談の上、子どものプライバシーや心情に一層配慮した対応に取り組まれました。実施に当たっては児童生徒をはじめ、校長・園長会、保護者などに対し十分な説明を行い問題なく実施されたことは評価できます。

学校安全に関しては、学校園、児童生徒、保護者と連携し通学路安全点検を行っていますが、生活の中で見慣れた道路表示や標識、付設された側溝等の問題を住民や通学者の目線から掘り出し、関係機関と連携して対策にまで結び付けている点は事故防止の点からも評価できます。

学校給食では今年度も栄養教諭等による食育指導を積極的に行い、給食時のクラス訪問が 479 回、栄養教諭と学校栄養職員による TT 授業が 40 回を数えています。これらは食育に関し教員に対し行ったアンケート結果などを踏まえ実施されています。このような取組は地域や学校・園の実情に応じた食育の指導を進める上で大切なことと考えます。また、今年度も市内産野菜の魅力を伝えるため生産者のメッセージ動画を配信されています。子どもたちに地域農業や多様な食材に関心をもたせるうえでよい取組が継続されていると思います。

重点施策5 教育環境の整備・充実 【教育施設課】

インフラとしての教育施設は、時代の要請に応じた教育を施すための整備とともに施設を安全な状態で維持管理することが求められます。伊勢崎市では伊勢崎市学校施設長寿命化計画にもとづく学校施設の整備、適正な維持管理工事の実施、そして教育に欠かせない情報機器の計画的な更新やインターネット接続環境の充実の三つを主な柱として取り組んできました。施設を利用する市民、児童生徒等の効果的な学びや安全に配慮し、先を見ながら計画的に施設の整備等を進めた結果、有効性、必要性、方向性の各評価で5が記されています。相応しい評価と考えます。特別支援学級の増設、P-roomの設置への要望も増えているようですが、より質の高い教育環境を提供するためにも今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

教職員の資質の向上では、校園内研修の充実への支援により、学校・園の先生方が着実に資質を向上させている様子が分かります。また、年々特別支援教育に対する教員の理解や指導力の向上が求められていますが、それに対応し「特別支援教育研修講座」の充実を図ってきていることは重要と思ひます。さらに市では、教員が児童生徒と向き合える時間を確保するため校務支援員を小学校23校、中学校11校で配置していますが、校務支援員の積極的かつより有効な活用で、今後も教員が児童生徒と触れ合えるようになることを期待します。

重点施策6 市民が主役の生涯学習の充実 【生涯学習課】

生涯学習への「計画・取組」や「今年度の成果」の欄には「地域の学びの輪を広げる」「市民が作る講座の支援」「地域の特性や市民のニーズに合わせた事業実施」「地域の文化振興や世代間の交流」といった言葉が見られます。このことから生涯学習行政を推進する課として、常に市民の主体性を重視し、施策を通し地域づくりを推進しようという姿勢が示されていることが分かります。

事業推進に当たっては各行政区の実態やニーズをよく知る生涯学習推進員を原動力とした出前講座の支援や、生涯学習ボランティアまなびい先生自主企画事業の支援などで地域の生涯学習を支え成果を上げてきています。まなびい先生に関しては市のホームページに講座内容（メニュー）や申し込み方法などが具体的に示されており市民が学びやすい環境が整えられていると思ひます。ヒアリングを行った1月の段階でもまなびい先生には129件の要請があり、実施された講座に対し市民から高い評価を得ているのも素晴らしいと思ひます。

公民館活動では所属のサークル会員が講師として様々な教室を開き指導者として活躍しています。これまでも地元の高校生が小学生を指導するダンスや書道教室等がありますが、世代間の交流が図られそれが地域づくりに結びつく内容であると思ひます。市民同士が学びや活動を通し結びつき、その学びが活かされる中で地域づくりが今後も進むことを期待します。

重点施策7 読書の街づくりの推進 【図書館課】

ブックスタート事業はじめ図書館フェスティバルなどでは多くのボランティア（図書館応援団）が活躍しています。今年のフェスティバルではそれに関連した企画にもボランティアの方々が協働し参加しました。このように市主催のイベントを市民が一緒になって盛り上げる場があることは素晴らしいと感じるとともに、そのような機会を通じて市民のアイデアや要望を上手く取り入れながら図書館行政を進めていただきたいと思います。

ボランティアの協力に関しては、今年度 DAISY 図書の制作・受入・貸出の手順を確立できたことが成果として取り上げられています。図書館の新たな取組として評価できます。活字図書の利用が困難な市民でも広く図書に親しむ機会を提供できるよう DAISY 図書の導入に向け積極的な取組をお願いしたいと思います。

重点施策8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成 【文化財保護課・図書館課】

文化財に関する業務の一つに文化財の調査研究とその結果を広く市民に知らしめることがあります。今年、赤堀歴史民俗資料館で行われた企画展「歴史いきもの図鑑」に 1,553 人、「ヒミツの縄文土器☆大集合—伊勢崎の縄文時代のすべて—」には 1,907 人の方々が訪れ、4 回実施された歴史文化講座には延べ 315 人が参加しています。綿密な企画や広報紙、資料館情報紙、SNS などでの情報発信など地道な作業の結果と思います。市民がふるさとのすばらしさや誇りをもつことにつながる大切な事業と思います。

伊勢崎市には田島弥平旧宅、女掘、十三宝塚遺跡、上野国佐位郡正倉跡など多くの史跡を抱えますが、その保存活用や環境整備などは着実かつ継続的に行われています。国や市の史跡はそのまま市民の貴重な財産でもあります。今後も市民が伊勢崎の歴史や史跡のもつ価値を学べるよう保存活用に取り組んでいただきたいと思います。

伝統芸能の保存と継承については、新規・継続を含め 5 団体の伝統文化親子教室に継承者育成事業支援が行われました。地域で伝承されてきた文化の継承とともに、世代を超えた交流や地域づくりにも有効と考えます。市長部局の文化観光課などとも連携を図りつつ事業を進めていますが、今後も関係機関と協力しながら一層の伝統芸能の継承が行われるよう期待します。

新たな市史編さん事業では、専門家を交えた各部会での資料収集や調査研究が合計で 70 回ほど実施され着実な進展が見られます。市史編さんの中で発掘された資料や研究成果をいかに市民に還元するかが市民の市史に対する関心を高めるうえで大切と思います。その収蔵資料展には 246 人が見学を訪れ、シンポジウムにも 370 名が参加しましたが、今後も市民がこの事業に関心をもち故郷伊勢崎に対する理解を深める機会となるように期待します。

V 点検・評価報告書

重点施策1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実

施策①	交流と体験を重視した就学前教育の展開			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○教育資源を積極的に活用したふたばすくすくプランの充実 ○未就園親子への遊び場の提供や保護者同士の交流、子育てに関する相談・支援の推進 ○保護者と一体となった活動づくりの推進や情報発信による幼稚園教育への一層の理解促進 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学生や大学生、老人会、地域ボランティアと交流活動を行い、絵本の読み聞かせ、公共施設の見学、野菜の栽培を実施するなど、全6園で計225回実施し、幼児に楽しく特色ある取組を展開することができた。 ○各園6回のプレ幼稚園を行い、延べ562人が参加して、手遊びや歌遊び、運動遊び、親子ふれあい遊びなどの体験の場の提供や保護者のニーズに応じた子育て相談を実施するとともに、全6園で預かり保育を拡充して長期休業期間中も実施し、延べ13,473人の利用があった。 ○幼稚園だよりやHP、継続的な家庭との連携・協力により、園における幼児の遊びや育ちの様子との共有と、子育ての楽しさや大切さ、流行性の病気等への対処法などの情報提供を実施することができた。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育力を生かし、多様な人や物と関わる生活体験を充実することで、豊かな心や学びの芽生えを育む。 ○継続してプレ幼稚園や子育て相談、預かり保育を実施することで、保護者の思いや願いに寄り添う子育て支援を行う。 ○積極的な情報発信と保護者との連携・協力体制を構築することで、幼稚園教育への理解を促進し、保護者と一体となった子育てを継続する。 					

施策②	幼稚園・小学校の連携			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動の工夫実践 ○幼稚園と小学校の円滑な接続のための取組の充実 ○就学前教育に対する情報の共有 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動を計画的に設定し、文字や絵に対する関心を高めたり、友達と一緒に遊ぶことや体を動かすことの楽しさや心地よさを感じさせたりすることができた。 ○複数回の情報交換会等の実施により、延べ233人が参加して幼児教育と学校教育における取組の相互理解を図り、円滑な接続のために支援や指導の在り方を共有できた。 ○小学校教諭等による保育参観や幼稚園と小学校の教職員の合同研修を通して、架け橋期の教育の充実に向けて取り組むことができた。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動の意図的・計画的な設定を継続することで、豊かな心や健やかな体を一層育む。 ○情報交換会等の機会を増やし、支援等への相互理解や協働した取組を活性化することで、幼児教育施設と小学校の連携体制を強化する。 ○市長部局と連携し、幼児教育施設同士の繋がりや情報交換の機会を増やすことで、幼小の滑らかな接続に向けて小学校との就学前教育の情報の共有を促進する。
--------	---

施策③	就学前教育の充実					総務課
計画・取組	○就園ニーズや地域実情を踏まえた適正配置の検討					
今年度の成果	○伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針及び幼児教育・保育の無償化制度の影響、地域における就学前教育施設の状況などを考慮し、適正配置の検討を進めるとともに、廃止後の新たな施設利用についても検討を進めた。検討の結果、南幼稚園は令和7年4月から図書館課が利用し、茂呂幼稚園は既存建物の老朽化により、令和7年度以降、園舎の解体工事を行う予定である。					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	○入園希望者数の動向に注視した慎重な検討及び決定をする。また、閉園後の施設利用を考慮し、市民の理解を得られる適正配置を検討・推進する。					

施策③	就学前教育の充実					学校教育課
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との結びつきを想定した教育の推進 ○5歳児健康診査の結果を基にした支援の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各園の取組を基に大学教授の助言を得る研修主任会を6回実施し、各園において共有するなど、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、環境の構成や支援を行うための研修の充実と保育実践により、幼児の集団としての育ちや一人一人の学びの芽生えを支えることができた。 ○幼児教育施設において5歳児健康診査を実施したことにより、通級指導教室の指導を受けるなど、個に応じた支援を行うことができた。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○特別な配慮を要する幼児への理解や支援の在り方等について、教職員の資質向上のための研修会や保育参観等を充実することで、発達に応じて一人一人の育ちを促す。 ○未就学児の発達に関する課題の早期発見に努め、一人一人の発達状況に応じた指導や支援の充実を図る。 					

重点施策2 子供の成長に応じた学校教育の充実

施策④	教育内容の充実			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能等を活用し考え表現する力を育成する授業や、「いせさき GIGAAL スクール構想」に基づく ICT 機器の活用や情報活用能力の育成による、「確かな学力」の向上 ○小学校と中学校の連続性を重視した授業や、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく伸ばす授業の充実による、英語コミュニケーション能力の育成 ○地域や企業、大学の方々から生き方や社会のしくみ等を学び、自己の生き方を考える「未来力」学習講座の実施による、将来の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善の視点として、「めあて」と「振り返り」の充実、適切な「褒める・認める・励ます」支援の推進、効果的な ICT 活用を示し、計画訪問において助言などを行ってきた。その結果、子供自身が課題を発見し、学習への見通しをもって取組み、わかったことなどをまとめる、取組みを振り返るといった一貫性のある学習活動を大切に授業づくりが進み、「学校の授業の内容が分かる」と感じている子供が92.7%になるなど、授業の充実を図ることができた。また、情報化推進計画モデル校として3つの中学校を指定し、デジタル採点システムを試験的に導入した結果、教育データを利活用した家庭学習の充実や授業改善の推進などを進めることができた。 ○小中学校において、発達段階に応じた知識・技能の到達度の目安である CANDO リストを活用しながら、9年間の連続性を意識した英語授業を充実させることができた。また、今年度は、海外語学研修の代替として中学3年生の40人を対象に「グローバルイングリッシュキャンプ in TOKYO」を2泊3日で実施した。 ○児童生徒が夢や希望を抱き、その実現に向けて目標をもって挑戦しようとする意欲や態度の育成に向け、地域で活躍する人等を外部指導者として活用した授業を482回実施した。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」と「振り返る」活動を充実させるとともに、情報化推進計画に基づいた授業改善等を進め、授業に対する満足感、達成感を味わいながら自律的に学びに向かう児童生徒を育む。 ○小中学校における英語教育の一層の充実に向け、授業改善を継続するとともに、CANDO リストの改善を引き続き行う。また、引き続き、英語に関心が高い生徒を対象とした研修を実施し、異文化理解やコミュニケーション能力の育成を図る。 ○自分で考え、自分で決定し、自分で動き出せる児童生徒を育むため、教育活動全体において、効果的にキャリア教育を展開する。 					

施策⑤	特色ある学校づくりの推進			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会との連携・協働による、地域全体での子供たちの育成のための「地域とともにある学校づくり」の推進 ○企業や大学の知的資源を活用するカリキュラムパートナー事業や、いせさき教育アンバサダーの職業観や人生観、高い志に触れる機会の設定 ○地域の方々との交流や体験活動を通して、ふるさと伊勢崎のよさを学ぶとともに、誇りや愛着を持ち、伊勢崎市民として、伊勢崎から世界に目を向ける学習の実施 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で一斉に取り組むあいさつ運動や、公民館を中心とした不登校児童生徒のための居場所づくりなど、学校運営協議会からの提案を踏まえた、「地域とともにある学校」を具現化することができた。また、1月の学校運営協議会連絡会議においては、コミュニティ・スクールに関する最新の情報を共有するため、CSマイスターに依頼し、講演会を実施した。 ○カリキュラムパートナーやいせさき教育アンバサダーの特別授業を36回実施し、より専門性の高い知的資源を活用することを通して、児童生徒の興味・関心を高める魅力ある教育活動の充実を図ることができた。また、41名の大学生を学校支援ボランティアとして個別の児童生徒への対応、養護教諭の補助などとして活用した。 ○学校・家庭・地域が連携して、地域社会に目を向けさせ、地域への愛着や誇りを持ち、地域行事や公民館事業への積極的な参加を促すことを通して、中学生が地域行事の進行を務めるなど、地域の一員としての自覚を育むことができた。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校の抱える課題について、地域の力を活用した取組を充実させるため、コミュニティ・スクールを拡充し、「地域とともにある学校づくり」をより強く促進する。 ○カリキュラムパートナーやいせさき教育アンバサダーのもつ知的資源の活用をさらに充実させることを通して、将来の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の視点をより一層重視した活用を推進する。 ○地域人材との交流や文化財等を活用した体験活動を通して、地域のよさを守り受け継ぐ人々の思いに触れたり、地域の魅力を考えたりする機会を設定し、伊勢崎ふるさと学習の充実を図る。 					

施策⑥	中等教育学校教育の充実			四ツ葉学園 中等教育学校		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○夢と希望を実現できる学力の育成 ○SDGsをテーマにした探究活動及びグローバル研修等体験型プログラムの実施 ○企業・大学と連携したキャリア教育の推進 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○次の本校独自の学力向上プログラムにより、生徒は将来の夢や希望の実現に向け、学力（基礎的・基本的な知識や技能、思考力・判断力・表現力等、学ぶ意欲）をバランス良く向上させることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・55分授業、朝・放課後・土曜などに行う発展的な内容の学習（スキルアッププログラム）、実用英語技能検定等の外部検定の導入による教育課程の質的・量的充実。 ・少人数指導や進学に向けた課外授業等による、生徒の希望に対応した細やかな指導の充実。 ・サポートリーダー制を活用した異学年交流の実施により、生徒に見通しを持たせて学校生活や学習に取り組ませること。 ○次の活動により、英語コミュニケーション能力を向上させるとともに、世界的な課題への理解を深めさせることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動 SDGsをテーマにした学びを教科の枠組みを超え、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現に生徒が主体的に取り組む探究活動を系統立て、計画的に実施した。これらの活動をとおして、生徒が実社会や実生活の中から問いを見出し、改善・解決への方策を提案する思考力・表現力を向上させることができた。 ・グローバル教育 ①基礎期（1・2年）、伊勢崎市役所や県内の企業から講師を迎え、グローバル化している社会の実態や多文化共生の必要性を学んだ。②充実期（3・4年）、国際機関で働いている方の講義やネイティブスピーカーを講師とした1泊2日の研修を実施した。③発展期、米国ミズーリ州にて海外グローバルリーダー研修（11日間）を実施した（5年）。 ○次の活動をとおして、生徒の自己理解を深化させるとともに、より良い社会創りに貢献しようとする意欲を高めることができた。 <ul style="list-style-type: none"> 大学や企業において最先端の知識や技能に触れる「アカデミックキャンプ（2年）」、地元の企業等で働く社会人へ生徒自らインタビューする「社会人への取材活動（2年）」、働く場としての官公庁や企業を知る「キャリアディスカバリー（3年）」、首都圏の大学を訪問する「大学訪問（4年）」等の生徒一人一人の夢や希望、そして進路実現を目指す特色あるキャリア教育プログラムを実施した。また、全学年において、大学や企業の講師による進路セミナーを実施した。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの教育活動の成果を生かしながら、生徒の学びに向かう意欲がさらに高まるような教育活動の充実を図るとともに、心身ともに健康で安全な学校生活の実現に向けた教育相談体制の充実を図る。 ○これまでの取組を基に、探究がより深まる、6年間を見通した指導計画の改善、充実を図るとともに、生徒や保護者への丁寧な説明や関係機関との連携を行いながら、生徒の学びを広げたり、深めたりできるようなプログラムの改善を図る。 ○これまでの取組を基に、生徒の視野を広げながら、社会の動向に対応したキャリア教育の充実を推進していく。 					

重点施策3 子供の徳育の充実

施策⑦	ふれあいを大切にしたい豊かな心の育成			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○温かい絆を育むためのきめ細かな指導・支援及び居場所づくり等の充実 ○家庭や地域との連携、個に応じたきめ細かな支援に基づいたいじめ・不登校の対策 ○「いせさき未来力向上スキル」等を生かした、子供が自ら考え適切に行動できるようにする支援・指導の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○継続的に子供に寄り添った指導や支援が行われ、心の居場所がある温かい学級づくりの充実が図られたことで、「学級の中で人にやさしくしたり、人からやさしくされたりすることがある」と答える児童生徒が94.5%、「自分の悩みや課題について、先生や友達に相談できる」と答える児童生徒が80.3%であるなど、教師と児童生徒や児童生徒同士の絆づくりが進んだ。また、「自分の居場所」「温かい学級」があることを大切に、生活の中で良い面や頑張っていること等について、ほめて、認めて、励ましなが、自己有用感の伸長が図られた。 ○誰もが安心して過ごすことのできるP-r-o-o-m（スペシャルサポートルーム）を設置し、自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活ができることにより、不登校の未然防止や状況の改善につなげることができた。また、教育支援センターほっとる～むに68名の児童生徒が通い、各教室において児童生徒の居場所づくりの継続ができています。なお、令和6年度末中学校卒業生27名のうち25名が進学できた。外国籍児童生徒への支援については、大学教員と連携して作成した指導資料を全校に配付し、指導の充実を図ることができた。 ○児童生徒がよりよい生活づくりに参画し、学級活動における話し合い等により、課題を主体的・計画的に解決していこうとする態度を伸長することができた。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な個性や特性を踏まえた児童生徒理解や対応、よりよい人間関係づくりについての研修を充実していく。 ○学校、地域、家庭、関係機関等（ほっとる～む、フリースクール）が、相互に理解や連携を図れるよう各校へ情報を周知し、児童生徒の多様な学びの場、居場所を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を充実していく。また、外国籍児童生徒の支援については、作成した指導資料を活用するなど、研究の機会を充実していく。 ○自分や他者を大切に、よりよい生き方を考え、実践できる道徳の授業を中心とした道徳教育・人権教育・情報モラル教育を充実していく。 					

施策⑧	家庭や地域との連携による心の育成			生涯学習課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○人権意識高揚のため、人権問題学習、人権啓発活動などの充実 ○市PTA連合会や各校PTAと連携・協働しながら、家庭教育・人権教育に関わる研修会、講演会を実施し、家庭の教育力を向上 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中に募集を行った人権啓発ポスターには、642点（小学生454点、中学生188点）の応募があり、人権意識の高揚が伺えた。「外国人の人権」をテーマに掲げて、市内幼稚園、小、中、中等教育学校の教職員、PTAを対象に人権意識の高揚を目的とした人権学習会を実施し、人権についての関心を高めることができた。 ○市PTA連合会では、7月に「これからの社会で活躍する子供にするために」と題し、前橋市手をつなぐ育成会会長(元前橋市教育長)の塩崎政江先生を講師に迎え、子供たちのためにPTAとしてできることやPTAのもつ可能性について研修会を実施した。また、9月には「味方になりきるコミュニケーション講座」として、日本ゲートキーパー協会理事長の大小原利信先生を講師に子供との接し方や関わり方について講演会を実施した。さらに、中部教育事務所の都丸社会教育主事を講師に「ワクワク子育てトーク」を2回開催した。これらの研修を通して、子育てに関わる多くの示唆を得ることができた。各小・中学校PTAにおいて、家庭教育・人権教育の推進を図る研修会等を展開することができた。地域ごとに挨拶運動を行うことができた。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各種人権啓発事業において、広報活動や参加依頼通知等の工夫を行い、より多くの市民の参加を促す。 ○学校、家庭、地域それぞれの役割を明確にし、「学校・家庭・地域」が一体となった教育活動の展開で、児童生徒の心の育成を図る。 					

施策⑧	家庭や地域との連携による心の育成			学務課		
計画・取組	○夏休み中に、家族が語りながら食事をする、一緒に料理を作るなどの「いせさき家族で『いただきます』の日」の活動の推進					
今年度の成果	○「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進事業として、夏休みに「わが家のおすすめ料理」のレシピを募集したところ3,502点の応募があり、昨年度より288点増加し、家庭への啓発につながった。					
5段階評価	有効性	4	必要性	4	方向性	4
今後の方向性	○「わが家のおすすめ料理」の入賞したレシピについて、各学校園を通して広く紹介し、さらなる啓発をしていく。					

施策⑨	地域ぐるみの子供の健全育成			生涯学習課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の健全育成の充実を推進する事業の展開により、地域の教育力を向上 ○公民館が主体となり、地域と学校が相互にパートナーとして「連携・協働」する体制（地域学校協働本部）の整備を推進 ○地域と学校が連携・協働した活動の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「少年の主張」伊勢崎市大会では、中学生が日頃感じていることや考えていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めると共に、少年に対する市民の理解や認識を深め、青少年の健全育成を図ることができた。この大会には、各学校の校内予選で選ばれた代表者12名が中学生らしい視点で、今考えていることや伝えたい自分の思いを立派に発表した。今年度は会場をあずまホールで実施し、伊勢崎清明高等学校のご協力をいただき、放送部の生徒が司会を行った。 ○夏休み子ども向け講座をはじめ、地域と学校が連携・協働した活動を数多く実施し、社会教育・学校教育・家庭教育の連携・協働を推進した。 また、活動にボランティアで参加した中学生には、各公民館から「ボランティア証明書」を発行した。 ○放課後子供教室は、昨年度までに11校で実施したが、今年度、境剛志小学校(会場：境剛志公民館)で新たに開校し、12校で実施することができた。 北小・南小・名和小・坂東小・赤堀東小・境采女小では、共通して3年生向けに算数の復習プリントと体験的な活動を行った。 三郷小では宿題と体験的な活動を行い、境東小では地域の公民館所属サークル(手話ダンス・童謡)に指導者をお願いし、新たにものづくり教室を実施した。 宮郷公民館で実施していた教室では、宮郷小学校に加え、宮郷第二小学校の児童も参加できるようにした。元社会教育委員(言葉(中国語)遊び教室)、地域の指導者(珠算教室)に指導をお願いし、新たにものづくり教室を実施した。 殖蓮公民館で実施していた教室では、殖蓮小学校に加え、殖蓮第二小学校の児童も参加できるようにした。地域の八木節保存会、元社会教育委員(言葉(中国語)遊び教室)に指導をお願いし、新たにものづくり教室を実施した。 あずま南小、境剛志小では、宿題や復習プリントと体験的な活動を行った。 また、北小・南小・名和小・坂東小・赤堀東小・境采女小・境東小・宮郷地区・あずま南小・境剛志小の10教室で、市の職員による出前講座を実施した。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○実施している事業や地域全体で子供たちの学びや成長を支える取組をより一層充実させ、子供の健全育成の充実を図る。 ○公民館が地域と学校をつなぎ、子供たちが事業等に参加したり、主体的に活動したりできる機会を充実させるとともに、各種団体や地域住民と連携・協働できる体制を強化していく。 ○地域の実情に合わせつつ、子供たちが地域の方と一緒に学習し、多様な体験活動を行うことができる放課後子供教室をより充実させ、子供たちの学びを豊かにする放課後の子供の居場所づくりの推進を図る。 					

重点施策 4 安心・安全を大切にした健康教育の充実

施策⑩	学校保健の充実				学務課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断事業や学校保健活動の充実、推進 ○組織的な健康管理による心と体の健康づくり ○家庭、地域関係機関と連携した健康教育の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○医師会及び歯科医師会等、関係諸機関と連携を図りながら円滑に健康診断を終えることができた。 ○児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について、正確な検査、診察を実施するとともに児童生徒等のプライバシーや心情に配慮することが文部科学省から示されており、各学校では、学校の施設設備の状況等を踏まえ、実施方法を学校医と相談し、児童生徒及び保護者へ、検査、診察の内容や服装等について、事前に周知し実施することができた。 ○子供たちがより良い生活習慣を身に付けるために、自己の健康を振り返ることができるカードを配布し、毎日記録することで、望ましい生活習慣の習慣化と意識の向上を図ることができた。また、家庭や地域関係機関と連携しながら健康教育の充実を目指し、学校保健委員会では、子供たちが健康の保持増進について調査し、発表等を通じて食生活や睡眠などの生活習慣を振り返ることができた。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断に基づく保健指導を充実し、児童・生徒の望ましい生活習慣の確立に向けた取組を推進していく。 ○児童・生徒が日々の健康観察を通して、自分の心身の健康状態を把握し、睡眠等の生活習慣を身につけていくための取組を推進していく。 ○熱中症や感染症の健康課題の解決に向け、児童・生徒の適切な意思決定や行動選択につながる健康教育を充実していく。 					

施策⑪	学校給食の充実		健康給食課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全な学校給食の提供と食育に関する情報の発信 ○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進 ○農業者団体と連携した地場産食材の積極的な活用の推進 			
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食の提供のため、老朽化した設備の更新を行った。 また、給食だよりを活用して、栄養バランスのとれた食事を1日3回食べることの大切さを伝えるとともに、学校給食を通じて食育の啓発を行うことができた。 ○栄養教諭等による食育の指導では、成長過程にある児童生徒が食の大切さを理解し、健康な身体を培い、食を通じて豊かな人間性を育むために、給食を生きた教材として活用した。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食時のクラス訪問の回数 479回 ・栄養教諭、学校栄養職員によるTT授業 40回 ○地場産食材の活用の推進では、伊勢崎市地場産農産物等利用促進協議会やJA佐波伊勢崎等の関係団体と連携し、地場産食材の情報を取得し、収穫期に合わせた献立を作成した。また、市内産野菜の魅力を伝えるため、生産者のメッセージ動 			

	<p>画を作成し、各教室の電子黒板を活用することで、市立小中学校の児童生徒に向けて動画の配信を行った。</p> <p>7月「ごぼう（京香）」、10月「青パパイヤ」、12月「ミルクィーシェリー、大根、人参、玉ねぎ、下植木ネギ」、1月「ビーツ、アレッタ」</p> <p>※大根・人参・玉ねぎについては有機野菜となります。</p>					
5段階評価	有効性	3	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<p>○安全安心な給食を提供するため、適切な施設整備をする。</p> <p>○給食を通して食に関する指導を継続し、児童生徒が健全な食生活を自ら実践することができるよう取り組みをしていく。</p> <p>○令和6年度の市内産野菜の使用量比率は18.2%であり、目標値の35.0%に満たないため有効性の5段階評価を3としたが、使用量比率を上げるため、生産者やJA佐波伊勢崎、関係課等と定期的に情報交換を行い、食育の推進及び市内産農産物の利用促進をしていく。</p>					

施策⑫	学校安全の充実				学務課	
計画・取組	<p>○学校と家庭・地域が一体となった安全教育の充実</p> <p>○学校職員、児童生徒、保護者、地域等が連携した安全点検の実施</p> <p>○日常的な安全指導の徹底</p>					
今年度の成果	<p>○普通救命講習会を未受講者や前回受講から5年以上経過した者、希望者を対象に9回実施し、約270名の教職員が受講することができました。</p> <p>○3月に学校園、児童生徒、保護者の協働による通学路安全点検を実施したところ、改善要望書が101件の提出がありました。改善要望書を基に通学路安全対策協議会で検討し、関係機関が現地を確認のうえ、危険要因を明らかにし、対策を図ることができました。</p> <p>○昨年度より国の2年間の指定を受けて、防災教育の推進・充実に向けて、各学校園が起震車体験学習や防災VR体験学習、予告なしの避難訓練等の実践を行いました。</p>					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<p>○関係機関や保護者・地域との連携を一層図り、学校・家庭・地域が一体となって取り組む安全教育を推進していく。</p> <p>○関係機関と連携して通学路の安全点検の実施、交通安全の確保の徹底に努める。</p> <p>○実践的な防災教育を推進し、効果的な避難訓練による防災意識を強化する。</p>					

重点施策5 教育環境の整備・充実

施策⑬	教育施設の整備充実				教育施設課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○伊勢崎市学校施設長寿命化計画（個別施設計画）に基づく学校施設の整備 ○安全な環境を守るための適正な維持管理工事の実施 ○教育用情報機器の計画的な更新を行い、インターネット接続環境の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設長寿命化計画に基づく名和小学校長寿命化改修事業は、子供たちが工事期間に使用する仮設校舎のリースや建築、設備の大規模改修工事の契約が今年度締結され、令和6・7年度の2か年で整備を実施する。 ○管理諸室空調設備更新工事や体育館空調設備設置工事、外壁改修工事など、安全な環境を守るための維持管理工事を71件実施した。 ○来年度の教育用端末の更新に向け、具体的な整備方針を策定した。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設長寿命化計画に基づき改修・更新の計画的な実施と平準化を図っていく。 ○法定点検又は日常点検の指摘事項や学校からの要望等を踏まえ、適正な維持管理工事を計画的に実施していく。 ○更新方針に基づき、教育用端末を確実に整備していく。 					

施策⑭	教職員の資質の向上			学校教育課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○学校、幼稚園における校園内研修の充実など、日常的な職務を通して職能成長を図る職場環境づくり ○教職員の経験や必要性に基づく市教委主催の研修会や、市教委事務局による学校訪問、幼稚園訪問での指導・助言、市教育研究所の研究事業等の充実 ○校務支援員の配置による教職員の業務改善及び教職員が児童生徒と向き合える時間の確保 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学校園訪問とともに、小中学校の「確かな学力」向上推進委員会を3回、幼稚園研修主任会においては5回開催し、日常的な校園内研修の取組に関する情報交換の場を設定したことにより、校園内研修を計画的に進めることができた。また、管理職や教務主任、学年主任等の各学校の中核となる教職員を対象とした研修を5回実施し、教育長や教育センター所長を講師とすることで、教員としての資質・能力の一層の向上に向けた研修を推進することができた。 ○教諭を対象とした、全3回、計6名の講師による「共に学び続ける教師講座」や全3回、計3名の講師による「特別支援教育研修講座」等の充実に加え、新たに、教職員の経験や必要性に基づいた研修会を計12回開催した他、学校からの要請による学校訪問を年間18回行い、指導主事による講話や授業研究会での助言などを通して、教職員の資質向上を図るとともに、授業改善を推進することができた。さらに、校長会や園長会、教頭会と連携し、特別支援を視点とした教育の推進、職能成長を図る支援の在り方等をテーマとした研修会を4回実施した。 ○教職員の業務改善及び児童生徒と向き合える時間を増加させるため、校務支援員を小学校23校、中学校11校に配置した。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○「確かな学力」向上推進委員会での情報交換の場を継続し、各校園の研修主任が、自信をもって校内研修を進められるよう支援する。 ○学校園のニーズに応じた主体的な研修、教職員の経験や必要性に基づく研修などを今後も推進し、教職員全体の資質向上につなげる。 ○授業改善のための研修の時間や児童生徒と向き合う時間を増やすなど、教員の本来業務に向かう時間を充実させるため、校務支援員による支援の充実を図る。 					

重点施策6 市民が主役の生涯学習の充実

施策⑮	学習活動の支援			生涯学習課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○地域交流の推進、「出前講座」「まなびい先生」を活用した身近な学びの充実 ○学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げるため、市民が集い、交流が図れる生涯学習大会の開催 ○公民館登録サークルへの支援 ○自主企画事業における会場の提供と広報活動の支援 ○中学生・高校生・大学生や公民館に所属するサークル会員が講師役で各種事業に参加するなど幅広い世代が参画し、地域での学びの循環が生まれる学社連携事業の推進 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各行政区の生涯学習推進員を中心に、市民一人ひとりが生きがいを持って積極的に活動できる出前講座や生涯学習支援ボランティアまなびい先生を活用した市民が作る講座を支援し、地域の生涯学習活動の推進を図った。 ○生涯学習大会では、大会テーマを「学んで笑って、人生楽しもう！」とし、前半を大塚製薬の原川裕文さんに「毎日の健康のための『体調管理のコツ』免疫と健康食事編」の内容で講演していただき、後半は、群馬県出身の落語家 立川がじらさんと柳家小もんさんに大いに笑わせていただいた。 ○サークル活動の発表のため、成果発表の場を提供し、サークルや地域の団体への活動を支援した。 ○まなびい先生自主企画事業において、公民館等の会場を提供し、市広報への記事の掲載などの支援を行った。また、まなびい先生と連携した講演会及びパネル展を開催した。 ○公民館所属のサークルが講師となり、中学生や高校生が講師補助役として参加、参画した事業を実施することができた。サークルに呼びかけ、出前講座として地域のミニデイサービスにおいて、音楽や詩吟を披露し、公民館での活動を地域へ還元できた。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座メニューの拡充とまなびい先生の登録者増、自主企画事業の支援を充実させ、さらなる地域交流、地域活動を支援する。 ○生涯学習推進員と協力し、充実した生涯学習大会を実施する。 ○学習成果の発表の場を提供するなど、今後も公民館サークルへの支援の充実を図る。 ○まなびい先生自主企画事業の会場の提供と広報活動等の支援を充実させる。 ○幅広い世代の参加、参画できる事業の推進を図り、地域人財をより活用した事業の展開を図る。 					

施策⑩	市民の学ぶ環境の充実			生涯学習課		
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館等における子供たちの体験学習の充実 ○地域の特性や市民のニーズに合わせた事業実施や市民の自主企画事業による学習機会の充実 ○生涯学習を通じて身に付けた学びの成果を地域に還元できる場の提供 ○まゆドーム等での子供への体験学習・学習機会の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館等において、学校の長期休業に合わせ、子ども向けの講座を実施した。 ○公民館で学習ニーズに合わせた様々な学級講座を実施し、学習機会の充実を図った。公民館の活動を通して、地域の文化振興や世代間の交流を図り、地域の活性化に貢献した。 ○公民館所属のサークル会員が講師となり、小学生を対象とした絵画、書道、手話教室等を実施し、地域での学び合いが図れた。ダンスや書道教室では、地元の高校生が講師となり、小学生を指導し、世代を超えた学びの充実が図れた。 ○まゆドーム親子ふれあい事業では、観察・実験など自然に関わる事業のほか、蚕など伝承的な事業なども取り入れ、親子がふれあい、友達との交流や仲間づくりを進めるなど事業を実施し、学習機会の充実を図った。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館等で子供たちのニーズにあった学級講座を実施し、さらなる学習機会の充実を図る。 ○幅広い年齢層が参加、参画できるような事業の充実を図る。 ○公民館所属のサークル会員や子供たちが活躍できる場の提供を推進する。 ○まゆドーム等で、科学の面白さを感じることができる体験学習の拡充を図る。 					

重点施策7 読書の街づくりの推進

施策⑰	豊かな心を育む読書活動の推進				図書館課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○本との出会いを演出し人を育む活動の推進 ○郷土資料を通し文化を育む活動の充実 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックスタート事業を通じて本との出会いを提供できたほか、読み聞かせの参加者も順調に回復している。(1,037人) ○市史編さん事業との連携により、図書館で所蔵する貴重資料を展示やデジタル化で活用することができた。 収蔵資料展：「弥平・烏洲・研究香 境島村で華ひらいた文化芸術」 デジタル化：『茂呂古城圖』『伊勢崎耕地整理組合地区全図』等 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○新保健センターの開館に伴いブックスタート事業の会場が変更となることから、スムーズな移行とより効果的な実施に向けて、保健センター側と協議を進めていく。 ○展示やデジタル化を通じた郷土資料の活用継続して取り組んでいく。 					

施策⑱	図書館の特色を活かした事業の展開				図書館課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフステージに合わせた支援サービスの充実 ○課題解決に役立つ図書館機能の充実 ○資料収集と企画展示による行政と市民を繋ぐ情報発信 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア団体の協力により、DAISY図書の制作・受入・貸出の手順を確立することができた。 ○ビジネス支援図書のコーナーについて、図書分類に合わせることでより判りやすい配置とすることができた。 ○文化財保護課、保健センター、介護保険課等と協力した企画展示や特設コーナーにより、身近な課題の解決に繋がる情報提供を行うことができた。 文化財保護課：埋蔵文化財パネル展 保健センター：がん予防パネル展、自殺予防パネル展 介護保険課：介護の日特設コーナー 					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○DAISY図書の正式導入を目指し、蔵書数を拡充していく。 ○課題解決に役立つサービスについて広報に努めていく。 ○引き続き各部署と連携し、情報提供に取り組む。 					

施策⑱	ボランティア（図書館応援団）との協働の推進				図書館課	
計画・取組	○図書館フェスティバルをはじめとした、市民との協働による事業の展開 ○ボランティア活動の充実					
今年度の成果	○図書館FESTIVALをボランティアとの協働により開催できた。 ○市民ボランティア団体との協働による企画を図書館FESTIVALの関連事業として実施することができた。					
5段階評価	有効性	5	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	○より多くのボランティア（図書館応援団）の参加を呼びかけていく。 ○ボランティア団体との協働企画について、丁寧に協議を進めながら定着を図っていく。					

重点施策 8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

施策⑩	文化財の調査研究と情報発信				文化財保護課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物や遺跡などの調査の実施 ○新規指定におけた文化財の調査や史跡田島弥平旧宅史資料調査の実施 ○赤堀歴史民俗資料館の企画展・季節展の開催などを通じた情報発信 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○旧相川家住宅の調査を実施し、国登録有形文化財への意見具申を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年3月21日新規登録の答申 ○史跡田島弥平旧宅の史資料調査を5月から12月まで実施した。また、新規指定を目指し、上植木廃寺から出土した瓦の整理を開始した（整理箱70箱終了）。 ○企画展や歴史文化講座の実施に伴い、広報や資料館情報紙、SNSなどでの情報提供に努め、来館者数も増加している。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展等の開催「歴史いきもの図鑑」 令和6年6月14日～9月1日 1,553人 「ヒミツの縄文土器☆大集合—伊勢崎の縄文時代のすべて—」 令和6年10月16日～12月22日 1,907人 ・歴史文化講座：4回延べ315人 ・資料館をめぐろう 土器ドキイズラリー：560人 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物や遺跡などの調査を継続する。 ○史跡田島弥平旧宅の史資料調査の継続及び史跡指定を目指した石山南遺跡・石山南古墳群の確認調査を開始する。 ○赤堀歴史民俗資料館では、戦後80年に関連した企画展や埴輪窯に関する企画展を開催する。 					

施策⑪	文化財の保存活用				文化財保護課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡田島弥平旧宅の保存活用及び周辺環境整備の推進 ○史跡女堀と史跡十三宝塚遺跡の保存活用と環境整備の推進 ○史跡上野国佐位郡正倉跡の公有地化及び発掘調査の推進 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○桑場整備に向けた全体基本設計追加調査を実施した。 ○史跡女堀保存整備工事（水路護岸整備）を実施し、史跡女堀調査整備委員会を1回開催した。 ○史跡上野国佐位郡正倉跡の公有地化を行い、条件の整った2筆についても追加指定（令和7年3月10日官報告示）を行い、遺跡の保護に努めた。また、継続して発掘調査を実施しており、正倉院の様相が明らかになってきた。今年度は現地説明会も開催し、70名の参加があった。また、史跡上野国佐位郡正倉跡等調査整備委員会を1回開催した。 					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡田島弥平旧宅の建物を保存整備し、公開範囲を拡大していくこと及び隣接地の土地利用を含め周辺環境整備を継続する。 ○史跡女堀の主に遺構保存を目的とした整備工事を継続する。 ○史跡の保存活用計画にのっとり、史跡上野国佐位郡正倉跡の公有地化や追加指定を行いながら、遺跡の全容を掴むための発掘調査も継続する。
--------	--

施策②②	伝統芸能などの保存と継承				文化財保護課	
計画・取組	○伝統芸能などの民俗文化財の保存と継承の支援					
今年度の成果	○文化庁の補助金「伝統文化親子教室」へ5団体申請により継承者育成事業の支援を実施した。また、令和6年10月6日「第66回関東ブロック民俗芸能大会」(静岡県清水市)へ県代表として県指定重要無形民俗文化財「千本木龍頭神舞」が出演し、大会当日の職員随行及び補助金申請事務を実施した。					
5段階評価	有効性	4	必要性	5	方向性	4
今後の方向性	○各継承保存団体へ継承のための各種補助金制度の情報提供による支援を行っていく。					

施策②③	新たな市史の編さん				図書館課	
計画・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○資料収集や調査研究の実施と新たな市史の編さん ○編さん事業の成果の市民への還元 					
今年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各専門部会が市史の編さんに向けた資料収集や調査研究をおこない、合計で70回実施した。 ○事業の周知と調査研究成果の還元を目的とした収蔵資料展やシンポジウムを開催した。収蔵資料展は令和6年10月14日～11月12日に開催し、期間中に246人が見学した。シンポジウムは令和7年3月23日に開催し、370名が参加した。 					
5段階評価	有効性	5	必要性	4	方向性	5
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き資料収集や調査研究を進めていくとともに、その成果をまとめた刊行物の発行を順次おこなっていく。 ○普及啓発事業を継続的におこない、事業の周知と調査研究成果の還元を図っていく。 					

Ⅵ 重点施策指標一覧

重点施策	1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実		所管課	総務課 学校教育課
指標 事業 ①②③	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	幼稚園が楽しいと感じている幼児の割合	99.4%	96.0%	100%

重点施策	2 子供の成長に応じた学校教育の充実		所管課	学校教育課 四ツ葉学園中等教育学校
指標 事業 ④⑤	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	学校の授業内容が分かると感じている児童・生徒の割合	小学校 94.3% 中学校 87.4%	小学校 93.7% 中学校 89.0%	小学校 95.0% 中学校 90.0%
	英語の学習が楽しいと感じる児童・生徒の割合	小学校 87.1% 中学校 72.2%	小学校 86.1% 中学校 78.3%	小学校 95.0% 中学校 85.0%
	将来の夢や希望の実現に向け努力している児童・生徒の割合	小中学校 全体 78.1%	小中学校全体 78.4%	小中学校 全体 85.0%
指標 事業 ⑥	特色ある教育活動の満足度	97.6%	94.2%	100%
	英語の国際標準規格 C E F R (セファール) の A 2 以上に相当する中等3年生の割合	92.9%	94.5%	80.0%
※ 教育活動に満足している生徒の割合は、学校評価アンケートで「本校の特色ある教育活動」「本校の6年間教育課程」に満足している生徒の割合				

重点施策	3 子供の徳育の充実		所管課	学校教育課 生涯学習課
指標 事業 ⑦	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	学級の中で人にやさしくしたり、人からやさしくされたりすることがある児童・生徒の割合	94.7%	94.5%	95.0%
	自分の悩みや課題について、先生や友達に相談できる児童・生徒の割合	79.1%	80.3%	85.0%
指標 事業 ⑧⑨	学校のきまりを守っている児童・生徒の割合	95.5%	95.4%	100%
	家庭教育・人権教育に関わる研修会・講演会の数(家庭教育人権教育推進事業など)	62回	107回	80回

重点施策	4 安心・安全を大切にした健康教育の充実		所管課	学務課 健康給食課
指標 事業 ⑩⑪⑫	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	児童生徒の朝食摂取率	94.5%	94.4%	96.0%
	市内産食材(野菜など)の使用量比率	20.6%	18.2%	35.0%
	交通事故発生件数	137件	107件	100件
普通救命講習会受講率(5年間に一度の受講)	73.4%	72.7%	90.0%	

重点施策	5 教育環境の整備・充実	所管課	教育施設課 学校教育課	
指 標 事業 ⑬⑭	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	管理諸室の空調機の更新率（更新完了学校数/更新対象学校数）	82.1%	100%	85.2%
	教育研究所における研修講座が参考になったと感じる教職員の割合	100%	99.0%	100%

重点施策	6 市民が主役の生涯学習の充実	所管課	生涯学習課	
指 標 事業 ⑮⑯	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	生涯学習関連事業への参加者数	69,196人	73,560人	94,000人
	サークル活動での学びを各種発表会、作品展等で表現するなど、地域へ還元する活動を行った団体の割合	11.4%	13.5%	25.0%
	学社連携事業の実施数	128回	176回	30回

重点施策	7 読書の街づくりの推進	所管課	図書館課	
指 標 事業 ⑰⑱⑲	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	図書館サービスの利用人数（継続して本を借りている人や講演会等への参加人数）	207,595人	212,811人	200,000人
	レファレンスサービス※件数	3,138件	3,380件	4,500件
	※問い合わせに応じ、図書等の紹介や検索により調べものをサポートするサービス			

重点施策	8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成	所管課	文化財保護課	
指 標 事業 ⑳㉑㉒㉓	観 点	R5年度実績値	R6年度末実績	R 6年度目標値
	調査説明会・講演会などの参加人数	9,808人	10,009人	13,000人

教育委員会事業点検・評価報告書における「重点施策指標」は、「第2期伊勢崎市教育振興基本計画*1【計画の達成目標（成果指標）】」の数値を明記しています。

そのため、指標指数の実績値が、令和6年度目標値を超える場合があります。

なお、「第2期伊勢崎市教育振興基本計画【計画の達成目標（成果指標）】」の数値については、「第2次伊勢崎市総合計画*2【まちづくりの指標（成果指標）】」を引用しています。

***1 第2期伊勢崎市教育振興基本計画**

本市教育行政が目指す基本理念の実現に向けた教育施策を総合的、体系的に示した計画
令和2年度～令和6年度を対象

***2 第2次伊勢崎市総合計画**

本市におけるまちづくり施策を計画的、効率的に定めている最高指針となる計画
後期計画については、令和2年度～令和6年度を対象

VII おわりに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく点検評価及び公表は、教育委員会が事前に立てた教育行政方針に沿って具体的な教育委員会事業が効果的に執行されているかどうかについて、自らが事後に点検及び評価し、その結果を公表することを通して、市民に対する説明責任を果たし、その活動の充実を図ることを目的としています。

今後、本市教育委員会の取組に対する市民の皆様のご意見をいただき、教育行政をより一層充実させていきたいと考えております。

また、この点検及び評価における「学識経験を有する者の知見の活用」に際しましては、共愛学園前橋国際大学客員教授の青木 博氏にご指導及びご助言をいただきました。

ここに深甚なる感謝を表しますとともに、ご指摘いただいた点につきましては、今後の教育行政の運営に最大限反映させていきたいと考えております。

令和7年5月

伊勢崎市教育委員会

教育長 三好 賢治

教育長職務代理者

里見 哲也

委員 野口 理英子

委員 矢島 祐介

委員 佐塚 公代

《ご意見等の送付先》

〒372-8501

群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地

伊勢崎市教育委員会（担当 教育部総務課）

電話 (0270) 27-2785

メールアドレス k-soumu@city.isesaki.lg.jp

